

世界史研究推進委員会

共同研究

「世界史における異文化との接触と交流」ヨロロッパとの出会い」および「世界史への興味・関心を育む教材・指導法の研究」経過報告

研究推進委員長 大清水高校 堀 部 宏 人

本年度から「世界史における異文化との接触と交流」ヨロロッパとの出会い」という新しい研究テーマを掲げました。これまでのテーマ「イスラーム世界の教材化」を止めてイスラームを対象外にしたのではなく、対象範囲を地域的・時代的に拡大したものと考えていただきたい。異なる文化圏や価値観を尊重し、ヨロロッパ中心的なものの捉え方を見直そうというものである。

またテーマとして掲げるまでもなく、日頃の研究成果を実際に授業で生かすことが重要であるが、今日の多種多様な学校状況の中でそれぞれがどのような工夫をしているのか実践報告を寄せ合うことがよりよい授業への刺激になる。その意味で本委員会メンバーによる夏期講座「モノを切り口とした世界史」の企画（別稿）や柏陽高校での公開授業（七月八日・ディベート「王政を取り入れるべきであるか否か」衆愚政治期のアテネの人々の立場で）は今後も続けたい試みである。関心を持たれる多くの先生方の飛び入り参加をお待ちしております。

さて、本年度に開催された八回の研究会で発表された内容は次のとおりである。

「イスラームと近代東アジアとの出会い」 手塚 尚（上矢部）

「山田寅次郎」イスラームと日本史との接点」 智野豊彦（市立東）

「世界史授業における音楽教材の活用」中世ヨロロッパ史と

イスラーム史を中心に」

大久保敏朗（厚木）

「十字軍とジハード」現代への視座」

堀部宏人（大清水）

「第二次世界大戦とイスラーム」ナチススロドイツ軍の

モスレム兵」

根岸洋史（神田）

「アブデュルレシト・イブラヒム」明治期日本とイスラーム世界

との交流」

智野豊彦（市立東）

「銀圏と金圏の出会い」中国とインドの例」手塚 尚（上矢部）

「啓蒙時代のヨロロッパにおける歴史観・世界観の変容」

西浜吉晴（大和）

このほかに、フィールドワーク資料「横浜の戦争遺跡を巡る」久保山からお三の宮へ」手塚 尚（上矢部）、公開講座資料「近代世界システムの形成」小林克則（厚木商業）、大阪大学21世紀COE報告資料（別稿）や各委員から授業プリントの持ち寄りなどのおみやげがあり、出席者の好評を博していた。

なお、本年度は次の学校などを研究推進委員会の会場として使用させていただきました。柏陽高校（第1回・四月二三日 第2回・六月一六日）・川崎高校（第3回・七月九日）日本史研究推進委員会と合同）・かながわ県民センター（第4回・七月二六日）・外語短大付属高校（第5回・八月二五日）・新栄高校（第6回・十月六日 第7回・一二月八日 第8回・二月二日）・お礼を申し上げます。